

第32回青森県生協大会（報告）

- 日時 2016年12月9日(金) 10:30～14:15
- 場所 リンクステーションホール青森（青森市文化会館）5F 大会議室&ロビー
- 参加 合計375名

コープあおもり	117	県労済生協	6	講演者	1
県庁・県民生協	70	弘大生協	2	青森県生協連	4
青森保健生協	106	消費者信用生協	1		
津軽保健生協	54	八戸市職生協	2		
八戸医療生協	10	かけあしの会	2	総計	375

4. 当日のプログラム

司会：寺地 栄（八戸医療生協）

10:30～	開会あいさつ 県生協連会長 平野了三
10:35～	記念講演：「社会保障は、民主主義の土台」 都留民子（県立広島大学教授）
12:05～	昼食休憩・お昼休みコーナー
13:00～	会員生協報告（消費者信用生協、青森県民生協、コープあおもり、青森保健生協、津軽保健生協、八戸医療生協、弘前大学生協）
14:00～	大会アピール（読み上げ：青森保健生協組織部 高森牧子さん）
14:15～	お楽しみ抽選会
14:25～	生協大会運営委員長あいさつ（舩木京子）、実行委員紹介
14:30	閉会

5. 大会の概要

		
司会の寺地栄さん	平野県生協連会長	都留民子先生

- ・リンクステーションホール青森で「第32回青森県生協大会」を開催し、県内各地から375名の参加がありました。司会の寺地栄さん（八戸医療生協）の開会宣言、平野県生協連会長の開会挨拶につづき都留民子先生の記念講演がはじまりました。都留先生は、新自由主義・グローバリゼーションという妖怪との闘いとして世界の社会保障の変遷と日本の社会保障の歴史を解説・紹介しながら、日本は「企業主義の社会保険であること」、「福祉国家体制が無いまま新自由主義・グローバリゼーションに席卷されている」と警句を発し、「日本の財政は破たんしていない＝世界の金余り国である」「戦争政策との闘いには、労働者・国民生活防衛の政策は不可欠である」「民主主義を守るために、労働者の長時間労働を排し、労働者にパン（適切な給与と沢山の休暇）を与えることが肝要である」と結びました。
- ・昼食をはさんで午後は、信用生協、青森県民生協、コープあおもり、青森保健生協、津軽保健生協、八戸医療生協、弘前大学生協から、各生協のこの間の特色ある実践例や事業の報告を頂きました。
- ・終盤、青森保健生協の高森さんが朗読する総会アピール、「青天の霹靂」（5K）などの景品が当たる恒例「お楽しみ抽選会」と続き、最後に舩木京子大会・企画運営委員長より大会企画運営に携わった企画運営委員メンバーの紹介と御礼の挨拶をもって終了となりました。